

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙第 1789 号	氏名	小川（三宅）千恵
論文審査担当者		主査教授	田口 尚
		副査教授	由井克之
		副査教授	前村浩二
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 この研究は、IgA 腎症を含むヒト腎炎組織を用いて、レニン・アンギオテンシン系の腎炎進展への関与を明らかにしようとしたものであり、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 この研究では IgA 腎症 18 例、非 IgA 型メサンギウム増殖性腎炎 5 例、非増殖性腎炎 10 例の腎生検組織における angiotensin-I-converting enzyme (ACE), chymase, angiotensin II (Ang II) receptor の mRNA の発現を in situ hybridization 法を用いて検索し、組織障害度との関連を解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、ACE, chymase, AT1R, AT2R mRNA は腎局所の細胞から産生されており、腎で合成された AngII が AT1R, AT2R を介して IgA 腎症の進展に関与している可能性を示したものであり、今後の IgA 腎症の進展機序の解明や治療法開発への応用が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は IgA 腎症の進展機序の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			